

文献

- 阿部(河本) 亜希子, 小林 淳子. (2004). 産後の母親の育児の自己効力感と関連要因に関する縦断的検討. *北日本看護学会誌*, 7(1), 19-28.
- グレッグ美鈴, 麻原きよみ&横山美江(2007).よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして.東京:医歯薬出版,64-84.
- 日野 京子, 山内 純子, 藤川 節子, 松田 真奈子, 高橋 勝子. (2012). 産後 2 週間健診による完全母乳栄養への効果. *日本看護学会論文集: 母性看護*, (42), 47-50.
- 入山 茂美, 濱寄 真由美, 山崎 真紀子& 本多 洋子. (2012). 産褥早期の母乳育児自己効力感が産後 1 ヶ月時の母乳育児状況に与える影響. *母性衛生*, 52(4), 538-545.
- 板谷 裕美. (2015). 母乳哺育の自己効力感構成要素抽出のための質的記述的研究. *日本母乳哺育学会雑誌*, 8(2), 124-132.
- 柏原 英子, 森 恵美. (2011). 初めて母乳哺育を行う母親が困難感を抱く新生児の哺乳行動. *母性衛生*, 52(2), 270-277.
- 風間 仁美. (2009). 授乳に関する母親の問題解決行動を促すためのかかわりに関する研究 開業助産師のかかわりの原点. *母性衛生*, 50 (2), 373-380.
- 厚生労働省(2015).平成 27 年(2015)人口動態統計(確定数)の概況.Retrieved from http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei15/dl/00_all.pdf[アクセス日時:2017.6.20]
- 厚生労働省(2015).平成 27 年(2015)国民生活基礎調査 結果の概要.Retrieved from <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa15/dl/02.pdf>[アクセス日時:2017.6.20]
- 厚生労働省(2015).平成 27 年(2015)雇用均等基礎調査.Retrieved from www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-27-07.pdf [アクセス日時:2017.6.20]
- 厚生労働省(2015).平成 27 年(2015)乳幼児栄養調査 結果の概要.Retrieved from <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-koyoukintoujidoukateikyoku/0000134207.pdf>[アクセス日時:2017.6.20]
- 厚生労働省(2007).授乳・離乳の支援ガイド I 授乳編. Retrieved from <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/dl/s0314-17b-1.pdf> [アクセス日時:2017.6.20]
- 松原まなみ, 山西みな子. (2005).母乳育児の看護学—考え方とケアの実際.大阪,メディカ出

版,14-20,169-172.

- 宮岡 久子, 佐藤 君江 & 堀越 幸子. (2015). 褥婦の退院時と1ヵ月健診時における自己効力感と、1ヵ月健診時の育児不安および育児困難感との関連. *母性衛生*, *55*(4), 776-782.
- 森本 眞寿代, 濱寄 真由美 & 岡崎 美智子. (2015). 産後1ヵ月の母親が母乳育児を継続する信念に影響を与える要因. *母性衛生*, *55*(4), 759-767.
- 森本 眞寿代, 永松 美雪. (2013). 助産師の継続支援による「母乳育児の満足度」に関する要因. *母性衛生*, *54* (1), 43-50.
- 永森 久美子, 土江田 奈留美, 小林 紀子, 中川 有加, 堀内 成子, 片岡 弥恵子他, 清水 彩. (2010). 母乳育児をしている母親の混乱や不安を招いた保健医療者のかかわり. *日本助産学会誌*, *24* (1), 17-27.
- 中田 かおり. (2008). 母乳育児の継続に影響する要因と母親のセルフ・エフィカシーとの関連. *日本助産学会誌*, *22* (2), 208-221.
- 野原 真理. (2015). 出産前後の母親の QOL の類型化に基づく影響要因の分析. *小児保健研究*, *74*(5), 669-677.
- 野口 眞弓. (1999a). 母親の気持ちを支える母乳ケア. *日本助産学会誌*, *13* (1), 13-21.
- 野口 眞弓. (1999b). ケアの受け手の認識に基づく母乳ケア過程. *日本看護科学会誌*, *19* (3), 38-46.
- NPO 法人ラクテーション・コンサルタント協会(2015).母乳育児支援スタンダード.東京:医学書院,64-77.
- 押川 愛恵, 渡邊 文, 山崎 愛沙. (2012). 退院1週間後フォローが母親に及ぼす心理的影響. *日本看護学会論文集:母性看護*, (42), 43-46.
- Otsuka, K., Dennis, C. L., Tatsuoka, H., & Jimba, M. (2008). The relationship between breastfeeding self-efficacy and perceived insufficient milk among Japanese mothers. *Journal of Obstetric, Gynecologic, and Neonatal Nursing : JOGNN*, *37*(5), 546-555. doi:10.1111/j.1552-6909.2008.00277.x [doi]
- 小曾根 秀実, 水野 克己. (2013). 授乳中の母親の心身状態に影響を与えているポジティブな要因. *日本母乳哺育学会雑誌*, *7* (2), 106-115.
- Percival, P. (2000)／鈴木 江三子監訳(2002). 新助産学(第1版).389-436,東京:メディカ出版.
- 田村 博美, 佐々木 睦子 & 内藤 直子. (2016). 母親が母乳育児継続に自信をもつまでのプ

ロセス. *香川大学看護学雑誌*, 20(1), 27-38.

山本 浩世, 田中 美樹 & 高野 政子. (2009). 「母乳が不足している」という母親の母乳育児に関する認識. *母性衛生*, 50(1), 110-117.

山崎 真紀子, 入山 茂昭, 濱寄 真由美 & 本多 洋子. (2010). 産褥早期の母親の Sense of coherence(SOC)と母乳育児自己効力感および母乳育児負担感の関係. *保健学研究*, 22(2), 45-50.